

## コミュニティの活性化を通じて地域共生力を高めよう！

高森東地区社会福祉協議会

会長 小川 登

地域の皆様におかれましては穏やかに日々をお過ごしのことと思います。今年は異常な暖冬で、早期の花粉の飛散と夏の水不足が懸念され、この先いろいろ気苦労も絶えません。

1年間休館していた高森市民センターの大規模改修工事もほぼ完了し(一部外構工事未了)、本格使用が始まりました。内部は明るく、設備の更新により快適となり、使いやすくなりました。今後も地域活動の拠点として大いに利用していきたいと思ひます。

令和5年度の活動は、コロナも2類から5類に移行したことを受け、当初の活動は様子見の感がありましたが、10月頃より活動もコロナ前に戻りつつあることを実感しています。

今年に入り、コロナもインフルエンザも感染者数が変わらず推移している状況を受け入れて、感染対策を行いながら活動を進めてまいります。

地域のコミュニティの活性化を通じて地域共生力を高めていくことが役割と感じております。地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



### ぴよママ♪クラブ、たくさんの行事で大活躍！



昨年から以下のようにたくさんの行事をすることができました。3月には春らしい雰囲気の中でお抹茶をいただきます。5年ぶりのお茶会になります。感染対策を十分に行いながら開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

ぴよママ♪クラブ代表 相原小夜子

11月8日、児童センターまつりとやきいも会のコラボ企画「やきいも&プチまつり」開催！

ぴよママ♪クラブはスーパーボールすくいに参加し、最後に焼きたてホヤホヤのやきいもをいただきました。



11月9日のサロンはJCHO病院主催の「健康教室(小児アレルギーのはなし)」へ参加する移動サロンとなりました。

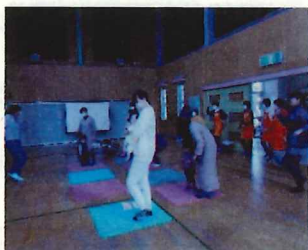


12月はX'masアイテムをジェルの中に入れたキャンドルを作りました。



1月は講師の満園依李さんとバレエの動きを取り入れた「バレトン」でリフレッシュしました！

2月は児童センターの先生方全員に、ぴよママボランティアも加わって一緒に歌ったり踊ったり楽しく遊びました。

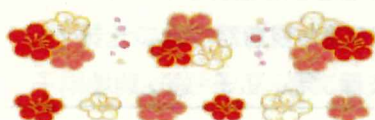


小野寺さんの見事な演奏

2月3日節分の日には児童センターと子育て支援クラブとの共催で「春よ来い来い、津軽三味線コンサート」を行いました。

全国大会、世界大会で数々の賞を受賞した東北高校1年生の小野寺舞夢さんが元気のいい、津軽三味線ならではの音を会場いっぱい響かせてくださいました。

民謡やアニメの曲もあり、地域のおじいちゃん、おばあちゃん、子ども達が一緒に楽しむことができました。



## 町内サロンも合同サロンも活発に開催！

各町内のサロン活動はほぼコロナ前の状態に戻り、感染対策をしながら活発に行われています。今回は合同サロンとボランティア研修会の様子をご紹介します。

ボランティアもくれん代表 阿部礼子

11月25日、合同サロン「落語を楽しむ会」をすていじさんだいで開催しました。

会場はあふれんばかりの参加者があり、東北大学学友会の落語研究会の3名の若さあふれる落語を楽しみました。

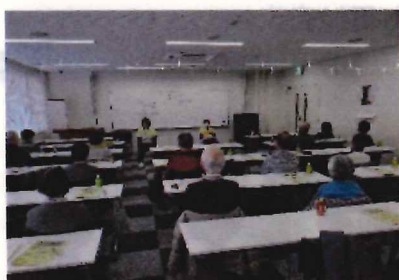
学生さんは最初は緊張しているようでしたが、話し始めると素晴らしい語り口で、参加者はユーモアと最後の「おち」で大笑い。また聞きたいね、とのたくさんの声がありました。



身振り手振りで大熱演！



愉快的落研メンバー



1月19日はボランティア研修会「脳の健康づくり」です。仙台市健康増進センターの講師により食生活と休養の大切さ、リラックスするための、座って行う「ゆるりら体操」を体験しました。

ゆるりら体操は筋肉の緊張と弛緩を繰り返し行うことにより身体のリラックスを導く方法です。参加者は太ももの上でこぶしをギュッと握り、一気に力を緩める簡単な手のリラックス運動などをして、リラックスの仕方を学びました。

## 人との関わりを大事にー宮城大学看護学群1年生との交流会

5丁目 金子 公子

1月9日、泉パークタウン在住で65歳以上の12名と看護学群1年生との「人生の各ライフステージを歩んできた方との対話交流会」に参加させて頂きました。学生10名・私1名とのグループに分れ、「私が生きてきた人生・今の暮らし」について「幼少期・学生時代・社会人以降働き盛りの頃」の印象に残っている出来事やエピソード、健康維持の心がけ、現在の暮らしについて話し、その後は質疑対話となりました。

50代の頃に経験した認知症の義母の介護で、多くの人に支えられた事などを話しましたが、熱心に聞いて下さり、質問の内容からは、看護師を目指す方として「人との関わりをととても重要な事と考えている」と強く感じました。

これから出会うたくさんの人との経験を通して、更なる成長を期待致します。私自身もこれまでの人生を振り返る時間を持つことが出来ました。とても貴重な経験をさせて頂き感謝申し上げます。

7丁目 渡辺 稔

私は昭和20年代後半の生まれですが、先輩である団塊の世代の方々は安保改定や急激な高度経済成長による社会の歪みや公害等が発生した激震の時代でした。私はその後の世代ですが、こうした風潮は大学内にまだありました。物価スライド制の導入、成田闘争等が社会問題化した時代です。

こうした時代背景の中で血気盛んな学生時代を過ごした私には、今回、学生との交流をしながら多少の違和感がありました。まるで半世紀前の私がタイムスリップし、近未来の人と話しているようでした。私の経験談をお話することは時代錯誤ではないかと思ったものです。

それでも学生さんからの感想は、渡辺さんのように目的を持って生きていきたい、出会う人との関係を大切にしていきたい、とあり嬉しく思いました。私も学生への質問もっと準備し、生活・勉強・余暇の過ごし方等もお聞きし交流したらもっと活発な交流になったのかなと思っています。



広報部から：コロナ禍も落ち着き、社協の活動がますます活発になってきました。高森市民センターも新しくなり、なんと！履き替えなしで靴のまま入ることができます。スタッフも親切かつ元気一杯！研修室も図書室も充実、どんどん活用していきましょう。 広報：安保文尋、高澤弘子、菊地絹子